

2022年12月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和4年12月1日

Nhan hoi Thong minh Khoe manh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン



校長 明石清二

本校児童生徒の真骨頂

11月20日(日)開催の小学部スクールフェスティバル、7月17日(日)開催の中学部スクールフェスティバルでは、一生懸命に取り組む児童生徒の姿に大きな感動を覚えました。物おじすることなく堂々と自分を表現することは、各御家庭の子育てがしっかりとされている証と捉えています。もちろん、外地に生活の基盤を置くためには家族の協力が必至であり、そのことが適切な形で子育てにつながっているのも確かなことです。

物事に集中して取り組むひたむきさ、健気さに本校児童生徒の真骨頂が発揮されたスクールフェスティバルであり、今後も大切に継承していきたい行事の一つです。

この「スクールフェスティバル」という名称は、平成11年(1999年 開校4年目)に命名された記録が残っています。

SDGs

皆様の御協力により200足の靴を回収することができました。急な御連絡にもかかわらず、多くの皆様のお力添えに心より感謝いたします。12月8日(木)、御講演を賜りました松尾英子様へ回収した靴をお渡しし、ハザンまで届けていただくよう全校児童生徒がお願いをします。今後、どのような形で支援活動を継続していくのか、児童生徒が話し合っています。

航空教室・マナー講座

11月2日(水)には、JAL様が小学部第5学年児童対象の「航空教室」、中学部第3学年生徒対象の「マナー講座」を開催してくださいました。飛行機が飛ぶ原理から紙飛行機制作、キャビンアテンダントの方による「人の第一印象は6秒で決まる」という話まで大変参考になりました。特に中学部第3学年生徒は「これからの面接に生かしたい」と受験に向けた意気込みを話していました。

幼稚園交流

11月3日(木)には、中学部全生徒が幼稚園年長児との交流会を行いました。一緒にゲームをしたり絵本の読み聞かせをしたり、自分の膝の上に乗せて遊んであげたりと「我が子」のように接していたのが印象的でした。みんな、心根の優しい本校自慢の中学生です。



ホーチミン日本人学校との交流

11月4日(金)には、ホーチミン日本人学校の第6学年児童が修学旅行の一環として本校を訪れました。本校児童は6月の修学旅行でホーチミン日本人学校を訪問し交流を深めています。この交流会は、平成10年(1998年)に始まっています。

ビンスクール校との交流

11月28日(月)には、小学部第5学年児童がビンスクールガーデニア校に出かけ交流会を行いました。両国の文化を紹介すると共に、歌を歌ったり、一緒にゲームをしたりして活動しました。第5学年の交流を皮切りに、今後、各学年の交流会を実施します。

大使館訪問・芸術鑑賞(狂言)

11月28日(月)には、中学部第3学年生徒が大使館を訪問しました。大使館の役目を考えると共にパスポートの秘密を教えていただき、領事によるバグダッド駐在の様子もお聞きしました。

11月29日(火)には、大使館の御仲介により狂言師 小笠原 由禰様 弘晃様父子が御来校くださり、狂言についての講話と劇を披露してくださいました。

狂言は小学部第6学年「国語科」で学習します。小学部低学年の児童には少し難しいかもしれないと心配しましたが、「室町時代の言葉」を事前に教えていただき動作化したことで、「盆山(ぼんさん)」の演目を食い入るように見ていました。

